marantz®

Model SA-7S1 取扱説明書

Super Audio CD Player

CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT

マランツのスーパーオーディオCDプレーヤーをお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

付属品

製品を箱から出したらまず下記の付属品がそろっているか確認してください。

- リモコン（乾電池付属 単４×２）............ １個
- 電源コード １本
- オーディオケーブル（赤・白）............ １組
- 取扱説明書（本書）............ １冊
- 保証書（箱に貼付）............ １枚

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告

電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

安全上のご注意

警　告

水場での使用禁止

- 風呂場等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。
  ーこの機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。

  ーこの機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。

  ーテーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。
- この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

分解禁止

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注　意

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス+とマイナスーの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。
- 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードは使用しないでください。

安全上のご注意

指のケガに注意

手を挟まれないよう注意

● お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

● レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス＋端子とマイナス－端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
● この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
● 長期間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池室についた液をよく拭き取ってから新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
● この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

はじめに

本機の特長

本機はスーパーオーディオCDの持つサウンドパフォーマンスを高度に再生します。主に次のような特長があります。

- ディファレンシャル入力のHDAMによるローノイズ低歪フィルター回路と高速HDAM SA2送り出しアンプ
- ディスクタイトルやトラックタイトルなど、スーパーオーディオCDのTEXT（テキスト）表示対応
- CD-R/CD-RWディスク再生対応
- 外部の高精度クロックで再生可能
- アナログ出力信号の位相反転が可能

スーパーオーディオ CD について

スーパーオーディオCD規格はダイレクト・ストリーム・デジタル（Direct Stream Digital）（DSD）技術に基づいています。
このダイレクト・ストリーム・デジタル・フォーマットは、従来のオーディオCDよりも64倍のサンプリング周波数を有する１ビットシステムから構成されています。
それによって、100kHz以上におよぶ周波数範囲及び可聴周波数帯全域でダイナミックレンジ120dBの素晴らしいサウンドが生まれます。
可能な限り多くの周波数分布をミックスすることにより、可聴域のオーディオ情報がよりいっそう自然に聞こえるようになります。
つまり、すべての可聴周波数は音源から発せられる周波数範囲内に組み込まれます。
これによって、リアリティーのある音場が再現されます。

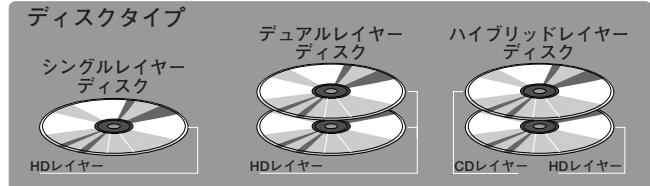
CD-RWディスク再生について

本機では従来のオーディオCDやCD-R（Recordable）に加え、CD-RW（ReWritable）ディスクの再生も可能です。

- CD-RやCD-RWの再生では必ずTOC* が正しく記録されていることが必要です。CDレコーダーではTOC情報を書き込むことをファイナライズ（Finalize）といい、この作業が正常に完了していないディスクは、普通のCDプレーヤーやスーパーオーディオCDプレーヤーではオーディオCDとして正しく認識されず再生することができませんので十分ご注意ください。詳しくはCDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

  * TOC（トック）とはTable Of Contentsの略で、ディスクの総曲数や総再生時間などの目次情報のことです。

- 再生できるのは音楽用のCD-DAフォーマットで記録されたディスクのみです。パソコン用CD-ROMなどデータが記録されたディスクは再生しないでください。
- CD-RWディスクを再生する場合、プレーヤーの設定を一部変更するため、オーディオCDやCD-Rに比べTOCの読み込みに若干時間がかかることがあります。

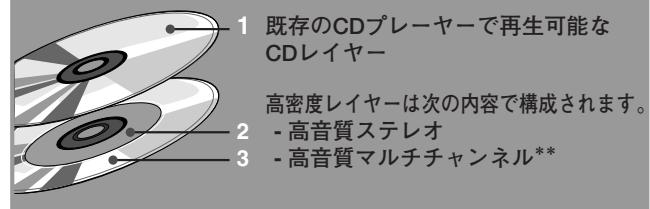
本機で再生できるディスクについて

1. スーパーオーディオ CD

スーパーオーディオ CDには、以下の3つのタイプがあります。

・シングルレイヤー・ディスク
・デュアルレイヤー・ディスク
・ハイブリッドレイヤー・ディスク

また、各々のタイプは、情報が記録される２つの領域、
・高音質ステレオエリア
・高音質マルチチャンネルエリア**
を持つことができます。

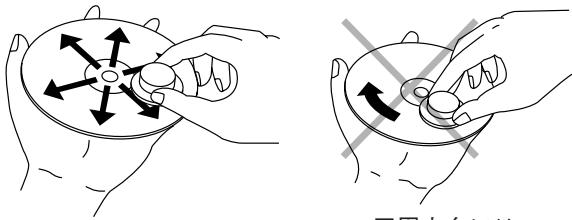
●シングルレイヤー・ディスク
高音質ステレオと高音質マルチチャンネル**の両方の情報エリアを持つことができます。

●デュアルレイヤー・ディスク
高音質ステレオと高音質マルチチャンネル** の両方の情報エリアを持つことができますが、第二レイヤーの存在によって2倍の情報量をディスクに記憶することができます。

●ハイブリッドレイヤー・ディスク
高音質ステレオと高音質マルチチャンネル** の両方の情報エリアを持てるだけでなく、第二レイヤーにはCDレイヤーも持てるため、CDプレーヤーでの再生が可能となります。

記録されるトラック数は、レイヤーによって違うことがあります。これは本体の表示窓に表示されます。

** **本機はステレオ専用プレーヤーですので高音質マルチチャンネルエリアは再生できません。（マルチチャンネルエリアは認識しません）**

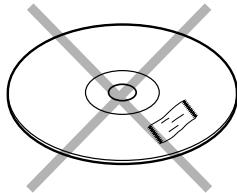
2. オーディオ CD（CDDA）

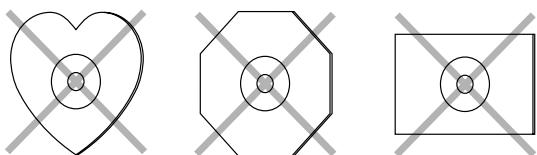
オーディオ CDはミュージックトラックのみで構成されています。

ご使用の前に

ディスクの取扱い方

★ ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

★ ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面をふく時は必ず専用のクリーナーを使用して図のようにふいてください。

● 放射状方向にふいてください。

● 円周方向には、ふかないでください。

★ ディスクのレーベル面に紙やシールを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

★ 特殊な形のディスクは使用しないでください。

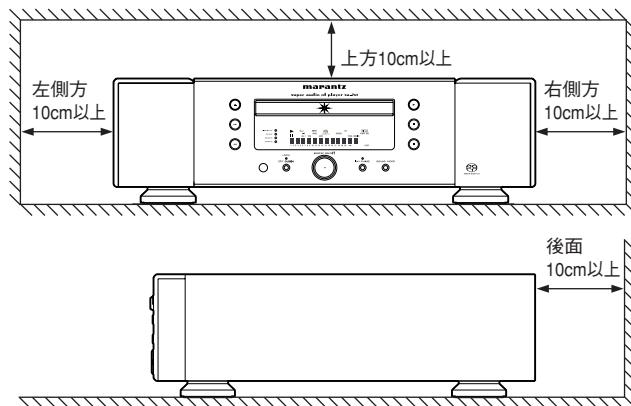
ハート型、八角形、名刺型など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、機器の故障の原因となることがあります。

★ ディスクレーベル面に［CDロゴ］COMPACT disc DIGITAL AUDIOマークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

CD規格外ディスクを使用された場合には、再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。

★ ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などかかるおそれのある場所

★ ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。

設置場所

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器が近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- 窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所
- 天地の狭いオーディオラックなど放熱を妨げる所

放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。

- アンプ等の発熱の多いものの上

※ アンプ等の発熱の多いものの上に直接置いた場合、レーザー等の劣化の原因になります。

■上に物をのせない

- 本機の上に物をのせないでください。

■ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流 100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域、または 60Hz 地域どちらでも使用できます。

■電源コードの取扱い

- 濡れた手で触れないでください。
- 電源コードは、かならずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱったり、折曲げたりしますと、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。
- お出かけ前には、かならずプラグを抜く習慣をつけましょう。

★セット内部の修理

- 注油しますと故障の原因になりますのでさけてください。
- 専門知識を持つ技術者以外の方は、ピックアップ部分及びセット内部の修理は行わないでください。

使用上の注意

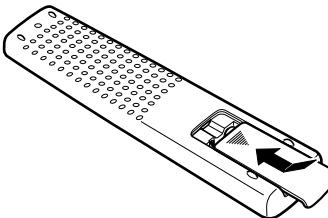
- 冬､暖房のきいた部屋の窓がくもったり水滴がついたりします。この現象を結露といいます。スーパーオーディオCDプレーヤーは、光学レンズを使用していますので次のような場合に結露が起きることがあります。

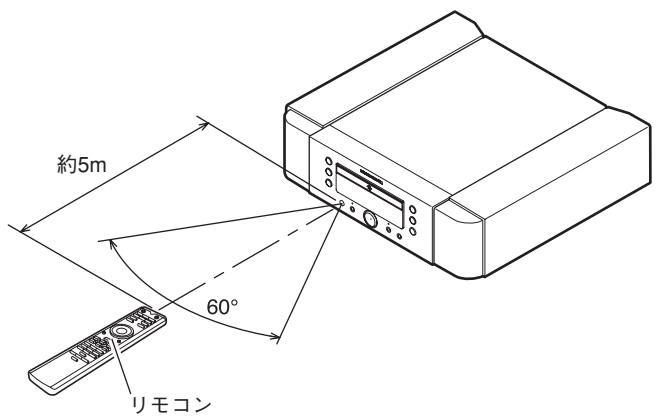
  ・ 暖房開始直後の部屋
  ・ 湿気が多い部屋
  ・ 寒いところから、急に暖かい部屋に持ち込んだとき

  このようなときは、曲数の読み込みができず、プレーヤーが誤動作することがありますので30分位待ってから使用してください。

- 本機がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビとの距離を離して設置してください。
- アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、再生がはじまるまでノイズは殆ど聴き取れません。アンプのボリュームを上げすぎますと他のオーディオ機器を破損することがありますので、ご注意ください。
- 本機はスーパーオーディオCDまたは従来のオーディオCD専用のプレーヤーです。パソコン用のCD-ROMや、ゲームCD、ビデオCD、DVD（ビデオ／オーディオ）、DTS-CD、などは再生できません。
- 市販されているレンズクリーナーは､レンズを破損させる恐れがありますのでご使用にならないでください。

電池の入れ方

このリモコンの電池の寿命は､普通の使い方で約1年です｡長い間リモコンを使わないときは､電池を取り出しておいてください。また弱ってきた電池は、早めに交換してください。

① 裏ぶたをはずす。

② 電池の ⊕ ⊖ を正しく入れる。

③ カチッと音がするまでしめる。

リモコンの使用について

乾電池の取り扱い方

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります｡以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
- 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は､各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。

★リモコンの使用できる範囲

リモコンと本機の赤外線受光窓との有効距離は約5m以内です｡リモコンの送信窓を受光窓と違う方向に向けたり、送信窓と受光窓の間に障害物があると、操作できないことがありますのでご注意ください。

各部の名称とはたらき

前面

1 **POWER ON/OFF(パワー：電源)スイッチ**
電源をON/OFFするスイッチです。スイッチを押すと表示窓が点灯し、電源が入ります。もう一度押すと、表示窓が消灯し、電源が切れます。

2 **ディスクトレイ**
ディスクを入れるところです。
※ トレイは手で押し込まずに、操作ボタンで閉じてください。

3 **INV. PHASE（インバーテッドフェーズ）インジケーター**
INV. PHASEボタンを押して、ANALOG OUTPUTS 端子(BALANCED, UNBALANCED)からの信号の位相が反転されたとき、点灯します。

4 **INV. PHASE（インバーテッドフェーズ）ボタン**
ANALOG OUTPUTS 端子(BALANCED, UNBALANCED)の信号の位相を反転させたいときに押します。（→23ページ）。

5 **SOUND MODE（サウンドモード）ボタン**
スーパーオーディオCDディスクのサウンドモードを選択します。
スーパーオーディオCD（ステレオ）／オーディオCD（ディスクが対応している場合）（→15ページ）

6 **❚❚ PAUSE（ポーズ）ボタン**
再生を一時停止するときに押します。もう一度押すと再開します。

7 **■ STOP（ストップ）ボタン**
再生を停止するときに押します。また、プログラムを消すときにも使います。

8 **▶ PLAY（プレイ）ボタン**
再生を始めるときに押します。

9 **スターマーク**
トレーが閉じているとき点灯します。
設定により常に消灯させることもできます。（→21ページ）

10 **DISPLAY OFF(ディスプレイオフ)インジケーター**
表示窓が消灯設定(オフモード)されているとき点灯します。（→21ページ）

11 **▲ OPEN/CLOSE（オープンクローズ）ボタン**
このボタンを押すと、ディスクトレイが開きますので、レーベル面を上にしてディスクを置いてください。
もう一度押すと閉まります。
※ ディスクトレイは手で押し込まないでください。不良の原因となります。

12 **⏮、⏭（トラックスキップ（サーチ））ボタン**
本体のみトラックスキップボタンとサーチボタンが兼用になっています。

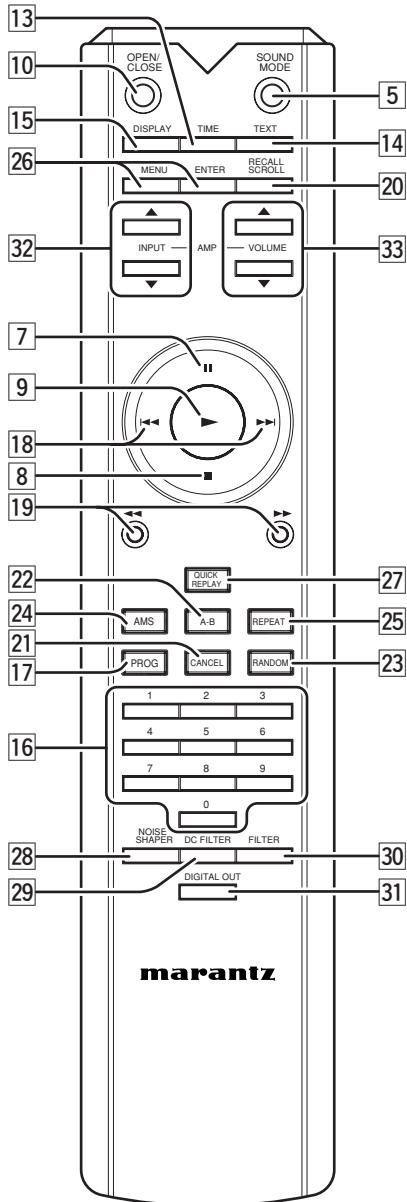
⏮ ：ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻ります。さらに続けてボタンを押すと、押した回数だけ前の曲に戻ります。また、ボタンを押しつづけるとサーチ（早戻し）になります。

⏭ ：ボタンを押した回数だけ次の曲に進みます。また、ボタンを押しつづけるとサーチ（早送り）になります。

プログラム再生中は再生中の曲の中でのみ早戻し、早送りすることができます。

13 **REMOTE SENSOR（リモートセンサー）**
リモコンからの赤外線コントロール信号を受光します。

14 **EXT. CLOCK(エクスターナル.クロック)ボタン**
このボタンを押して、本機へ接続したマスタークロックジェネレーターのクロック周波数に合わせます。（→22ページ）

15 **EXT. CLOCK（エクスターナル.クロック）インジケーター**
EXT. CLOCKボタンを押すと、本機のクロック周波数（44.1 kHz、88.2 kHz、176.4 kHz）のひとつが点灯します。
EXT. CLOCKボタンを押す毎に、クロック周波数インジケーターが移動します。（→22ページ）
※ 44.1kHz、88.2kHz、176.4kHzのインジケーターが同時に点灯しているときは、内部メモリーの整理中です。不良ではありません。この最中は電源を切らないようお願いします。

16 **LOCK（ロック）インジケーター**
EXT. CLOCKボタンを押して、EXT. CLOCKインジケーターのクロック周波数とマスタークロックジェネレーターのクロック周波数が一致（同期）したときに点灯します。（→22ページ）

17 **LCDディスプレイ**
動作状態を表示します。

リモコン

5 SOUND MODE （サウンドモード）ボタン

7 ❚❚ PAUSE （ポーズ）ボタン

8 ■ STOP （ストップ）ボタン

9 ▶ PLAY （プレイ）ボタン

10 ▲ OPEN/CLOSE （オープンクローズ）ボタン

上記のボタンは本体前面のそれぞれのボタンと同じです。
「前面」の各項を参照してください。

13 (TIME) （タイム）ボタン

TEXT対応のスーパーオーディオCDディスクを使用中、テキスト表示から時間表示に変更する場合に使用します。
また、時間表示を切替えるときに押します。押すたびに“曲の経過時間”→“曲の残り時間”→“総残り時間”→“曲の経過時間”と切替わります。（→16ページ）

14 (TEXT) （テキスト）ボタン

TEXT 対応のスーパーオーディオ CD ディスクを使用中、メイン表示部を時間表示からテキスト表示に変更するときに押します。
（→ 20 ページ）

15 (DISPLAY) （ディスプレイ）ボタン

表示窓の点灯、消灯を切替えます。
ディスプレイオフ設定時、10 のインジケータが点灯します。（→ 21 ページ）

16 (0) - (9) （数字）ボタン

ダイレクトに曲番を指定したいときに使用します。

17 (PROG.) （プログラム）ボタン

プログラム再生をするときに押します。（→ 18 ページ）

18 ⏮、⏭ （トラックスキップ）ボタン

⏮ ： ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻ります。さらに続けてボタンを押すと、押した回数だけ前の曲に戻ります。

⏭ ： ボタンを押した回数だけ次の曲に進みます。

※ リモコンではサーチボタンは分かれています。19 サーチボタンを使用してください。

19 ◀◀、▶▶ （サーチ）ボタン

◀◀ ： 再生中、このボタンを押している間だけ早戻しします。

▶▶ ： 再生中、このボタンを押している間だけ早送りします。

20 (RECALL/SCROLL)

TEXT対応のスーパーオーディオCDディスクで、テキスト表示している場合に、テキストをスクロールさせるときに押します。
また、プログラム中やプログラム停止中、プログラムした曲を確認するときに押します。（→ 19 ページ）

21 (CANCEL) （キャンセル）ボタン

プログラムした曲を取り消すときに使います。（→19ページ）

★ **説明書本文中でリモコンのみで操作できる機能があります。ボタン類の説明で本体とリモコンでどちらでも操作できる場合は □ の中にボタン名を表示し、リモコンのみで操作をする場合は ⬭ の中にボタン名を表示しています。**

㉒ (A-B) (A-B リピート) ボタン

A-B リピート再生の開始点と終了点を指定するときに使います。(→17ページ)

㉓ (RANDOM) (ランダム) ボタン

ランダム再生をするときに押します。(→ 18 ページ)

㉔ (AMS) (オートマチック ミュージック スキャン) ボタン

AMS 再生をするときに押します。(→ 19 ページ)

㉕ (REPEAT) (リピート) ボタン

リピート再生をするときに押します。押すたびに“全曲リピート”→“1 曲リピート”→“解除”と切替わります。(→17ページ)

㉖ (MENU) (ENTER) (メニュー設定) ボタン

クイックリプレイの時間設定をするときに使用します。(→20ページ)

㉗ (QUICK REPLAY) (クイックリプレイ) ボタン

クイックリプレイ再生をするときに押します。(→20ページ)

㉘ (NOISE SHAPER) (ノイズシェーパー) ボタン

NOISE SHAPER の ON ／ OFF を設定するときに押します。(→ 15 ページ)

㉙ (DC FILTER) (DC フィルター) ボタン

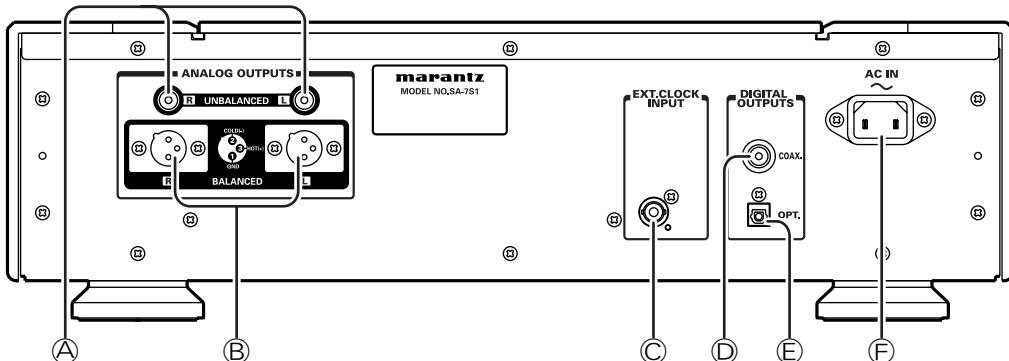
DC フィルターの ON ／ OFF を設定するときに押します。(→ 15 ページ)

㉚ (FILTER) (フィルター) ボタン

デジタルフィルターの設定をするときに押します。
ボタンを押すたびに、FIL1→FIL2→FIL3→FIL1 と切替わります。(→ 16 ページ)

㉛ (DIGITAL OUT) (デジタルアウト　オフ) ボタン

オーディオ CD 信号のデジタル出力の ON ／ OFF 設定をするときに押します。(→ 15 ページ)

㉜ (INPUT) (インプット) ボタン

マランツ製の対応アンプ (2006年9月現在の対応モデル：SC-7S2、PM-11S1、PM-15S1、PM8001、PM6001、SR9600) をご使用の場合、インプット切り替えを操作することができます。

㉝ (VOLUME) (ボリューム) ボタン

マランツ製のリモコン付きアンプをご使用の場合、音量調節をすることができます。

後　面

Ⓐ ANALOG OUTPUTS　UNBALANCED（アナログ出力　アンバランス）端子

アナログ音声信号のアンバランス出力端子です。アンプのCD，ＡＵＸ端子等にアナログ接続コードでつなぎます。Ｌ、Ｒチャンネルどうし正しく接続してください。

※ アンプのPHONO端子には絶対につながないでください。

Ⓑ ANALOG OUTPUTS　BALANCED（アナログ出力　バランス）端子

アナログ音声信号のバランス出力端子です。アンプのバランス入力端子に市販のバランス接続コードでつなぎます。Ｌ、Ｒチャンネルどうし正しく接続してください。（→ 23 ページ）

※ バランス出力端子を接続する場合は必ずアンバランスを接続しないでください。
（バランスとアンバランスの両方同時に使用できません）

Ⓒ EXT. CLOCK INPUT（エクスターナル クロック）端子

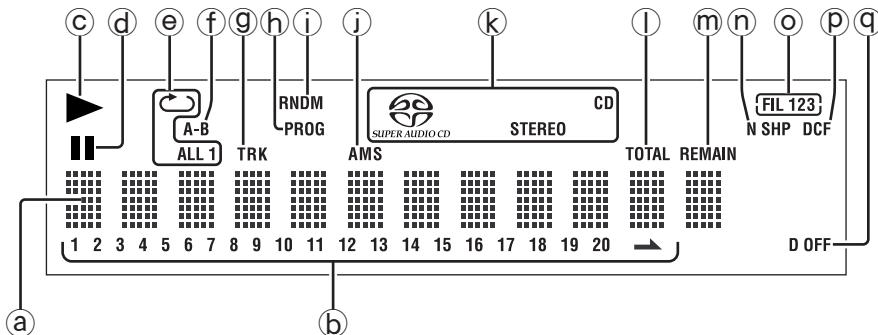
外部からのマスタークロックジェネレーターのクロック周波数の入力端子です。
マスタークロックジェネレーターとBNC端子付同軸ケーブル(75 Ω)で接続します。

Ⓓ DIGITAL OUTPUTS COAX.（同軸デジタル出力）端子

再生中のオーディオCD信号をデジタル出力します。同軸デジタル入力端子のある録音機器やアンプ、D/A コンバーター等と市販の同軸ケーブルで接続します。

※ デジタルアウトオフ設定時は出力されません。
※ スーパーオーディオ CD のときは出力されません。

Ⓔ DIGITAL OUTPUTS OPT.（光デジタル出力）端子

再生中のオーディオCD信号をデジタル出力します。光デジタル入力端子のある録音機器やアンプ、D/A コンバーター等と市販の角形光ケーブルで接続します。

※ デジタルアウトオフ設定時は出力されません。
※ スーパーオーディオ CD のときは出力されません。

Ⓕ 電源コード接続端子

付属の電源コードを使用して、家庭用AC100V コンセントに接続してください。

表示窓

ⓐ メイン表示部

再生するディスクの時間表示、文字（テキスト）情報、設定メニューなどを表示します。

ⓑ 1〜20、➡（ミュージックカレンダー）

ディスクに記録されている曲番数、再生中の残りの曲番数、プログラム再生でプログラムされた曲番を表示します。ディスクに記録されている曲が21曲以上のときは➡が点灯します。

ⓒ ▶（プレイ：再生）インジケーター

再生時に点灯します。

ⓓ ❚❚（ポーズ：一時停止）インジケーター

一時停止時に点灯します。

ⓔ ↻、ALL、1（リピート）インジケーター

リピート再生時に点灯します。

ⓕ A-B（A-Bリピート）インジケーター

A-B リピート再生時に点灯します。

ⓖ TRK（トラック）インジケーター

再生中の曲番（トラックナンバー）などの表示の上に点灯します。

ⓗ PROG（プログラム）インジケーター

プログラム再生時に点灯します。

ⓘ RNDM（ランダム）インジケーター

ランダム再生時に点灯します。

ⓙ AMS（オートマチックミュジックスキャン）インジケーター

AMS 再生時に点灯します。

ⓚ CD、Super Audio CD、STEREOディスクインジケーター

ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。

ⓛ TOTAL（トータルタイム）インジケーター

総残り時間や、総プログラム時間を表示すると、その上に点灯します。

ⓜ REMAIN（リメイン）インジケーター

トラックの残り再生時間を表示すると、その上に点灯します。

ⓝ N SHP（ノイズシェーパー）インジケーター

ノイズシェーパーが ON に設定されているときに点灯します。（→ 15 ページ）

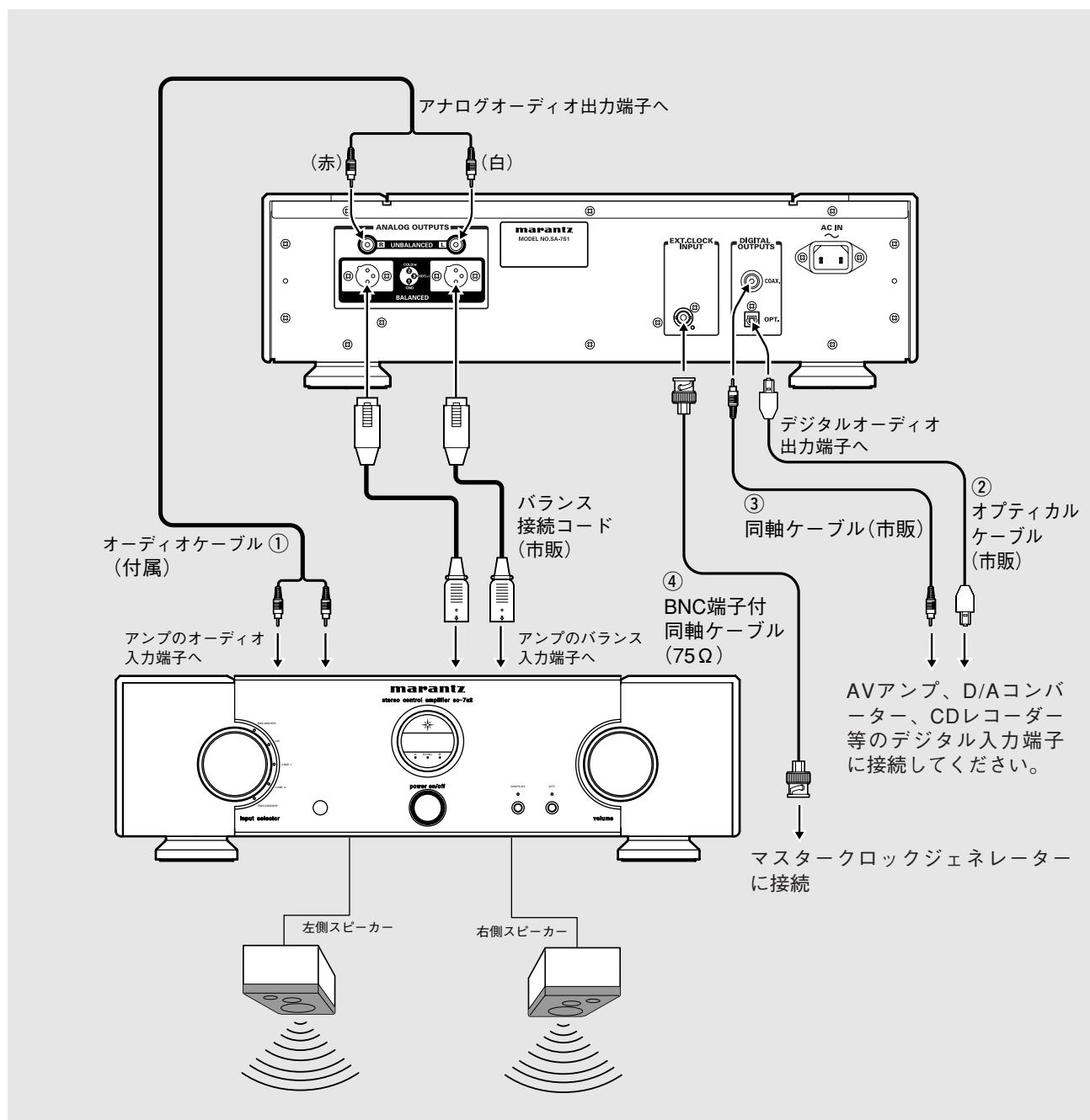
ⓞ FIL 1 2 3（フィルター1、フィルター2、フィルター3）インジケーター

現在、フィルター1、フィルター2、フィルター3のうち、どのフィルターが選択されているかを表示します。
（→ 16 ページ）

ⓟ DCF（DC フィルター）インジケーター

DC フィルターが ON に設定されているときに点灯します。
（→ 15 ページ）

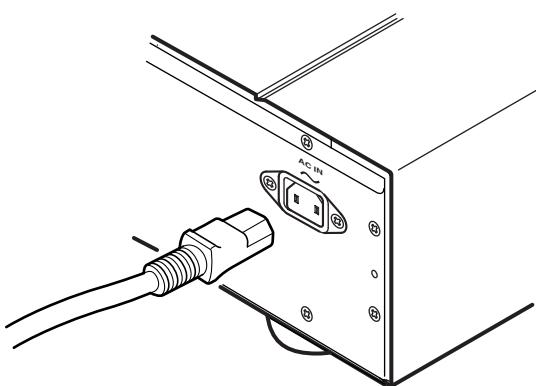
ⓠ D OFF（デジタル出力 OFF）インジケーター

オーディオCD信号のデジタル出力設定が OFF に設定されているときに点灯します。（→ 15 ページ）

接続方法

お使いのアンプ／AV アンプなどのステレオシステムに応じて、プレーヤーの接続方法が異なります。
正しく接続を行うために、接続する機器の取扱説明書を参照してください。

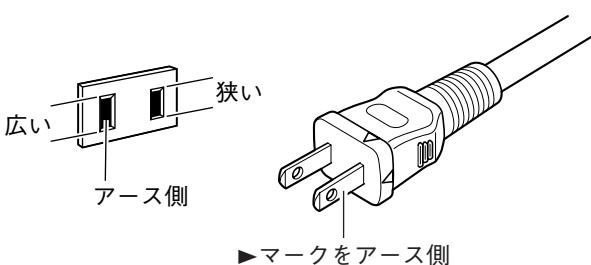
注意：接続する際、本機のオーディオ出力からお使いのオーディオシステムの PHONO 入力には接続しないでください。

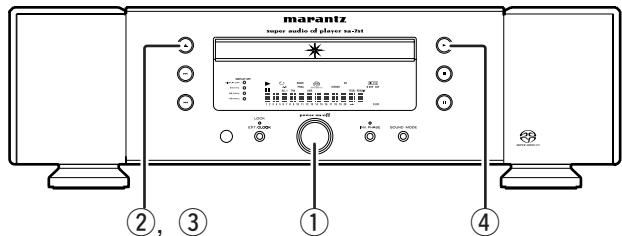
1. オーディオケーブル ① を本体のフロントスピーカー用出力とお使いのアンプ､レシーバーまたはステレオシステムのオーディオに対応する入力端子に接続してください。
2. オプティカルケーブル ②、または同軸ケーブル ③ を AV アンプ、D/A コンバーター、CD-R 等のデジタル入力端子に接続してください。
3. 外部マスタークロックジェネレーターを接続する場合は、BNC 端子付同軸ケーブル（75 Ω）④ をご使用ください。

※ DIGITAL OUTPUTS 端子（OPT.、COAX.）からは､オーディオ CD 再生時のときのみ出力されます。スーパーオーディオ CD 再生時は出力されません。

操作方法

★ 説明書本文中でリモコンのみで操作できる機能があります。ボタン類の説明で本体とリモコンでどちらでも操作できる場合は ▭ の中にボタン名を表示し、リモコンのみで操作をする場合は ⬭ の中にボタン名を表示しています。

電源コードの接続および電源を入れる

1 付属の電源コードをプレーヤーの背面の電源コード接続端子に差し込んでください。

2 接続したオーディオ機器（アンプ等）の電源スイッチを入れてください。その際オーディオ機器のセレクトボタンは本機と接続した入力を選択してください。

3 電源コードをコンセントに差し込んでください。

電源コードの極性

- 家庭用電源コンセントの幅の広い側はアース側とされ、通常は地面に接続されています。
  極性を合わせなくても動作に差し支えありませんが、► マークをアース側に接続することで音質が向上します。しかし、ご家庭の環境によっては逆に接続した方が音質的に良いこともありますので、ご確認の上、最適な方向に接続してください。

通常の再生のしかた

■ プレーヤーの再生

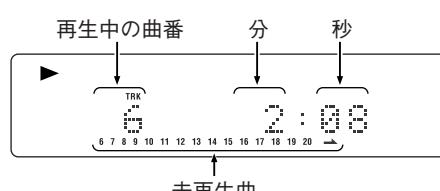
① POWER スイッチを押し電源を入れます。

LCD ディスプレイ

SuperAudioCD

表示は“TOC Reading”→“No Disc”（ディスクが入っていない場合）→“Super Audio CD”（スタートサウンドモード設定がスーパーオーディオ CDの場合）の順に変わります。

② ▲ OPEN/CLOSE ボタンを押します。

ディスクトレイがでてきますので、そこにレーベル面を上にして、ディスクをのせます。
シングル（8cm）CDは、トレイ中央のくぼみに合わせてのせてください。

③ ▲ OPEN/CLOSE ボタンを押します。

④ ► PLAY ボタンを押します。

ディスクの種類を自動的に判別し、再生を始めます。

ディスプレイには曲番·曲の再生経過時間（分、秒）が表示されます。

※ スーパーオーディオ CD/CD のハイブリッドディスク（6 ページ）の場合、スタートサウンドモード（→ 16 ページ）で設定されたレイヤーが再生されます。レイヤーを変更したいときは SOUND MODE ボタンで切替えてください。（→ 15 ページ）

（例：6曲目、経過時間2分8秒の場合）

最後の曲の再生が終わると、自動的に止まります。

もう一度最初の曲から再生するには

▶ PLAY ボタンを押します。

再生を停止するには

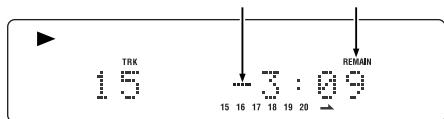
■ STOP ボタンを押します。

ディスクを取り出すには

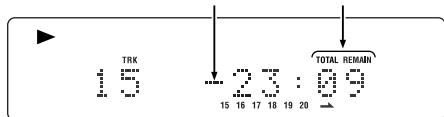
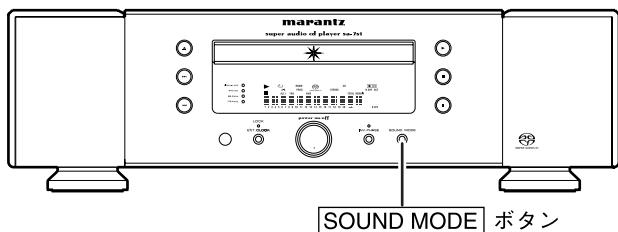
▲ OPEN/CLOSE ボタンを押してディスクトレイを開き、ディスクを取り出し、もう一度押して閉じます。
本機を使わないとき、ディスクトレイは必ず閉めておいてください。

再生を一時停止するには

II PAUSE ボタンを押します。
PAUSE インジケーターが点灯し、再生はボタンを押した所で一時停止されます。再生を再開するには、もう一度 II PAUSE ボタンを押すか ▶ PLAY ボタンを押します。

時間表示を切替えるには

リモコンの (TIME) ボタンを押します。
(TIME) ボタンを押すごとに時間表示は、“曲の経過時間”→“曲の残り時間”→“総残り時間”→“曲の経過時間”の順に変わります。

● **曲の残り時間**

(再生している所から、その曲の最後までの再生残量時間)

● **総残り時間**

(再生している所から、最後の曲までの総再生残量時間)

※ TEXT対応のスーパーオーディオ CD ディスクを使用中、(TIME) ボタンを押すと時間表示が優先され、その後 TEXT 表示は出なくなります。TEXT を見る場合は (TEXT) ボタンを押してください。

■ サウンドモード(スーパーオーディオCD)の切替え

① 停止中のとき SOUND MODE ボタンを押します。

現在選択しているレイヤーまたはエリアがLCDディスプレイに表示されます。(CD、Super Audio CD)
更に SOUND MODE ボタンを押すと再生可能なレイヤーまたはエリアが表示され、新しいレイヤーまたはエリアへ切り替わります。

※ レイヤーまたはエリアを切り替えると新たにTOCの読み取りをおこないます。

※ オーディオCDディスクおよびスーパーオーディオ CD エリアのみのディスクのときは切り替えができません。

※ ハイブリッドレイヤーディスクでは次のように切り替わります。

スーパーオーディオCDステレオエリア→CDレイヤー→スーパーオーディオ CD ステレオエリア

※ トレイオープン中にサウンドモードを選択することができます。聞きたいレイヤーまたはエリアを選択し、▶ PLAY ボタンを押すとトレイが引き込まれ再生を開始します。

② 再生中のとき SOUND MODE ボタンを押します。

現在選択しているレイヤーまたはエリアがLCDディスプレイに表示されます。(CD、Super Audio CD)
更に SOUND MODE ボタンを押すと再生は停止し、新しいレイヤーまたはエリアへ切り替わります。
そのエリアで聴きたい場合は、再度 ▶ PLAY ボタンを押すと再生を開始します。

スタートサウンドモード

本機は、スーパーオーディオ CD の高音質ステレオとオーディオCDの両方の情報エリアを持つスーパーオーディオCDハイブリッドレイヤーディスクを再生する際に、優先して再生するレイヤー／エリア（スーパーオーディオ CD またはオーディオ CD）を設定することができます。
この設定はディスクトレイにディスクが無い状態でトレイが閉まっているとき、設定できます。

① 本体の SOUND MODE ボタンを押します。
現在選択しているレイヤー／エリアを表示します。
スーパーオーディオ CD の場合 ：Super Audio CD
オーディオ CD の場合 ：CD

② 更に SOUND MODE ボタンを押して優先して再生したいレイヤー／エリアを表示した状態で 2 秒以上放置したとき、スタートサウンドモードは確定されます。

注意

※「スタートサウンドモード」はラストメモリー機能を持っています。ディスクの交換や電源を切っても設定を記憶し、変更されません。
※ 出荷時はスーパーオーディオ CD に設定されています。

好みの音に設定する

設定はリモコンで操作可能です。
また電源を切っても保持されますので、常にお好みの状態で再生を楽しむことができます。
再び設定を変更するには同じ操作で変更します。
設定は停止中のとき変更できます。

■オーディオ CD またはスーパーオーディオ CD の CD レイヤー再生時

① ノイズシェーパー（NOISE SHAPER）操作

本機ではノイズシェーパーのオン／オフを選択して再生することができます。
停止中のとき (NOISE SHAPER) ボタンを押す度にオン／オフが繰り返され、オン時には LCD ディスプレイの “NSHP” が点灯します。

※ ノイズシェーパーとはオーバーサンプリングする際の演算過程で使用される一種のデジタル帰還のことです。デジタル帰還によって、低い音のリニアリティと可聴帯域のノイズ特性を改善します。
しかしデジタル帰還でも、帰還に違いはありません。一般的にアンプ等においても、帰還量によって音質が変化します。帰還は少ないほうが特性は悪くなるが音はよいとも言われています。
本機 SA-7S1 でも測定上の差は現れませんが、音質は変化しますのでお好みに合わせておたのしみください。

② DC フィルター（DC FILTER）操作

停止中のとき (DC FILTER) ボタンを押す度に、オン／オフが繰り返され、DC フィルターオン時には LCD ディスプレイに “DCF” が点灯します。

※ DCフィルターは非常に低いノイズ性の音声が記録されているディスクで、スピーカーが異常振動するような場合有効です。（カット周波数は、1.7Hz に設定されています。）

③ デジタル出力オフ（DIGITAL OUT OFF）操作

停止中のとき (DIGITAL OUT) ボタンを押す度に、オン／オフが繰り返され、デジタル出力OFF 時にはLCDディスプレイに “D OFF” が点灯します。

※ デジタル出力を使用しない場合、デジタル出力OFF にすると、より良い音質で楽しむことができます。

注意

※ ノイズシェーパー、DCフィルター、デジタル出力オフは、ラストメモリー機能を持っています。ディスクの交換や電源を切っても設定を記憶し、変更されません。

■フィルターについて

SA-7S1では、マランツオリジナルのDSPを使用したCD再生用デジタルフィルター“PEC777f”(Phase Error Compersation 777 filter)のアルゴリズムをさらに改良し、進化させた“PEC 777f2”を搭載しています。
スーパーオーディオCD再生時は、D/Aコンバーター内部のフィルターを使用します。
フィルターはスーパーオーディオCD再生時、オーディオCD再生時にそれぞれ3種類の特性を内蔵し、それぞれ下表のような特長を持っています。お好みにあわせて切り替えてください。

■フィルター操作

停止中のときにフィルターの設定ができます。
(FILTER) ボタンを押す度に、FIL1→FIL2→FIL3→FIL1と切り替わります。操作によって オーディオCDとスーパーオーディオCDはそれぞれ、下図のような特徴あるフィルターを選択できます。
「フィルター」はラストメモリー機能を持っています。ディスクの交換や電源を切っても設定を記憶し、変更されません。

フィルターの選択表

フィルターの種類	オーディオCD	スーパーオーディオCD
FIL 1	プリエコー、ポストエコーが短い特性で、音の情報が多く、とても奥深い音像と音源の位置が明確に再現されます。	DSDデータに対してフィルターリングをしないダイレクトモードです。 オリジナルソースデータをそのまま再現させます。
FIL 2	非対称インパルス応答と呼ばれる特性です。プリエコーに対してポストエコーが少し長めです。アナログ特性はスローロールオフ特性となり、バランス良く再現されます。	DSDデータを100kHzを超えた部分を減衰させます。またDAC内の動作を非対称とし、DACの分解能を優先させ、40マルチレベル相当に上げます。
FIL 3	インパルス応答は、これらのフィルターの中で一番短い特性です。高い音の解像度を持ちつつ、ゆったりした再生バランスがあります。	DSDデータに対してフィルターリング100kHzを超えた部分を減衰させます。DAC内部は23マルチレベルの完全対称動作となります。

(注):スーパーオーディオCD高音質ステレオエリア再生時、各フィルターでアナログ出力レベルが少し変わります。

聴きたい曲（トラック）を再生する

■曲番を指定して再生する（ダイレクトサーチ）

リモコンの数字ボタン（0〜9）で再生する曲番を指定します。

（例）

3曲目　：　数字ボタン ③ を押す。

12曲目　：　数字ボタン ① を押し、続けて ② を押します。（約1.5秒以内に押してください。）

始めに押した数字が10の桁になく、1の桁だけの場合は約0.5秒後にサーチが始まります。

数字ボタンを押し間違えたときは

もう一度、正しい数字ボタンを押します。

※ ディスクにない曲番を指定すると、この操作をする前の表示に戻ります。
数字ボタンで正しい曲番を指定します。

■前の曲や次の曲を再生する（トラック スキップ）

再生中の曲より後の曲を聞くには

進めたい曲数分だけ本体またはリモコンの ▶▶| ボタンを押します。

再生中の曲より前の曲を聞くには

再生中に本体またはリモコンの |◀◀ ボタンを1度押すとその曲の頭に移ります。
続けて戻したい曲数分だけ本体またはリモコンの |◀◀ ボタンを押します。

聴きたい部分を再生する（サーチ）

再生中に本体の |◀◀、|◀◀ ボタン、リモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押し続けると、サーチを開始します。
聴きたい部分が近づいてきたらボタンを離してください。

※ サーチ中音声は出ません。

繰り返し聴く（リピート再生）

■全曲を繰り返し聞く（全曲リピート）

リモコンの (REPEAT) ボタンを1回押すと "↻" "ALL" インジケーターが点灯し、全曲を繰り返し再生します。

通常の再生に戻るには

(REPEAT) ボタンを2回押します。"↻" "ALL" インジケーターが消えてリピートモードは解除され、通常の再生に戻ります。

※ プログラム後に (REPEAT) ボタンを押すと、選択した曲だけを繰り返し再生します。

■1曲だけを繰り返し聞く（1曲リピート）

リモコンの (REPEAT) ボタンを2回押します。
"↻" "1" インジケーターが点灯し、その曲を繰り返し再生します。

1曲リピートをやめるには

(REPEAT) ボタンを押します。"↻" "1" インジケーターが消えて、リピートモードは解除され、通常の再生に戻ります。

■指定した部分を繰り返し聞く（A-Bリピート）

① 再生中、繰り返したい部分の開始点でリモコンの (A–B) ボタンを押します。"A-" インジケーターが点滅します。

② 繰り返したい部分の終わりで、(A–B) ボタンを押します。"A-B" インジケーターが点灯し、指定した部分（A-B）を繰り返し再生します。

A-B リピートを解除するには

(A–B) ボタンを押します。"A-B" インジケーターが消えてA-B リピートは解除され、通常再生に戻ります。

※ ランダム再生中、プログラム再生中はA-Bリピートはできません。

※ 繰り返したい部分の開始点（"A-" インジケーター点滅）より前の時間に繰り返したい部分の終点（"A-B" インジケーター点灯）を設定することはできません。

順不同で曲を再生する（ランダム再生）

停止中にリモコンの (RANDOM) ボタンを押し、続いて [▶ PLAY] ボタンを押すと、自動的に曲順を並び変えて、全曲を無作為（ランダム）に再生します。“RNDM”（ランダム）インジケーターが点灯します。

- ランダム再生中の曲間は約２秒です。

ランダム再生を止めて、通常再生に戻すには

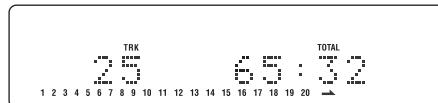
[■ STOP] ボタンを押し、再生を停止した状態で (RANDOM) ボタンを押します。
RNDM（ランダム）インジケーターが消えて、ランダム再生が解除されます。

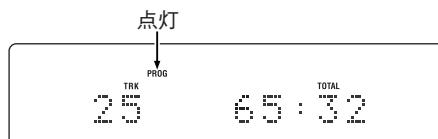
ランダム再生中に本体またはリモコンの [▶▶|] ボタンを押すと

押すたびに本機が並べ変えた曲に移り、再生を始めます。

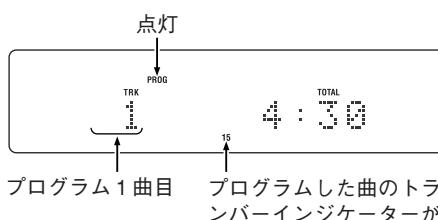
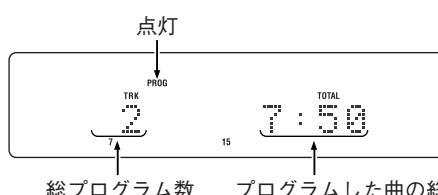
ランダム再生中に本体の [|◀◀]、[▶▶|] ボタンまたはリモコンの [◀◀]、[▶▶] ボタンを押し続けると

再生中の曲内をサーチします。サーチ動作は前後の曲には移りません。

ランダム再生を繰り返し聞くには

リモコンの (REPEAT) ボタンを１回押します。毎回違う曲順で再生を繰り返します。

- プログラム後に (RANDOM) ボタンを押すと選択された曲の中でランダム再生します。

曲を好きな順番で聴く（プログラム再生）

曲を好きな順番に並べ替えて聴くことができます。
最大 30 曲まで再生する曲をプログラムできます。

（例：25曲入りのディスクで、15曲目、7曲目の順にプログラムする場合）

① 停止状態でリモコンの (PROG.) ボタンを押すと、“PROG” インジケーターが点灯しプログラムモードに入ります。

② リモコンの数字ボタンでプログラムする曲を選びます。

（例：15曲目を最初に選び、15曲目の再生時間が4分30秒の場合）

③ 続いて希望の曲を ② の手順を繰り返してプログラムします。最大で 30 曲までプログラムできます。

（例：7曲目を選び、15曲目と7曲目の総再生時間が7分50秒の場合）

④ [▶ PLAY] ボタンを押すと、プログラムした順番に再生します。

※ 21 曲目以上の曲をプログラムしたとき、トラックナンバーインジケーターの代わりに ▬ が点灯します。

プログラム内容を確かめるには

プログラム中またはプログラム停止中（“PROG” 点灯中）にリモコンの (RECALL/SCROLL) ボタンを押します。
(RECALL/SCROLL) ボタンを押す度に、プログラムした曲が順番に次々に表示されます。

プログラムした曲を取り消すには

① 停止中、プログラムがあるとき（“PROG” が点灯中）に (CANCEL) ボタンを押します。
② (CANCEL) ボタンを押す度に、プログラムした曲の最後の曲から順番に取り消されます。
また、このとき取り消した曲番のトラックナンバーインジケーターが消えます。

プログラム全体を消すには

プログラム再生中は、[■ STOP] ボタンを2回押します。停止中は [■ STOP] ボタンを 1 回押します。
[▲ OPEN/CLOSE] ボタンを押してディスクトレイを開けても、プログラムは消えます。

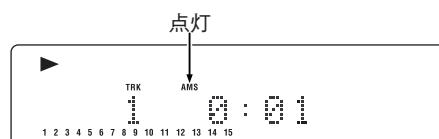
プログラムの追加をする場合

プログラムが残っている場合の停止状態（“PROG” が点灯している状態）にプログラムを最後の曲の後に追加することができます。
ただし、RNDM（ランダム）インジケーターが点灯しているときはプログラムを追加することはできません。

※ プログラムで曲を選ぶとき、次のことがらに注意してください。

- 総曲数が10曲以上のディスクで、数字ボタンで1〜9曲目を選ぶ場合、例えば1曲目の後、3曲目をプログラムする場合なら1 を押し、プログラムが確定した後、およそ 1.5 秒以上たってから 3 を押してください。確定されるとタイムが更新されます。
- また 10 曲目以降を選ぶ場合、例えば 13 曲目なら 1 を押した後、およそ 1.5 秒以内に 3 を押してください。
- 総曲数が 9 曲以内のディスクで、数字ボタンで曲を選ぶ場合、例えば 4 曲目の後 5 曲目をプログラムする場合なら4を押した後、およそ0.5秒以上たってから5を押してください。

Q&A

- **プログラムできる曲数は？**
  プログラムでは30曲まで再生する曲を選ぶことができます。
- **繰り返しプログラム再生を聴くには？**
  (REPEAT) ボタンを 1 回押してください。“↻” “ALL” が点灯し、プログラム再生を繰り返します。
- **プログラムした曲を順不同で聴くには？**
  プログラム停止状態で (RANDOM) ボタンを押します。

聴きたい曲を探す（AMS 再生）

聴きたい曲を探すときに便利な機能です。
停止中、(AMS) ボタンを押すとAMSインジケーター“AMS”が点灯し、1曲目からディスク全曲の最初の10秒間を次々に再生します。
また、再生中に (AMS) ボタンを押すと、AMS インジケーター“AMS” が点灯し、表示時間が約 10 秒経過したら次のトラックにとびます。

聴きたい曲が見つかったらもう一度 (AMS) ボタンまたは [▶ PLAY] ボタンを押します。AMS インジケーターが消灯し、その曲以降を通常再生します。

※ プログラム後に (AMS) ボタンを押すと、プログラムされた曲だけを AMS 再生します。

クイックリプレイ

再生中に (QUICK REPLAY) ボタンを押すとMENUで設定された時間だけ戻って再生します。

※ トラックを越えての再生はできません。
　また、再生中のトラックの総時間がクイックリプレイの設定時間より短い場合、または再生時間がクイックリプレイの設定時間より短い場合には (QUICK REPLAY) ボタンを押すとその曲の曲頭に戻り再生します。

クイックリプレイの時間設定をするには

① ディスクトレイにディスクが挿入されている場合は、ディスクを取り出し、トレイを閉めます。

② リモコンの(MENU) ボタンを押します。

```
Quick Replay
```

③ “Quick Replay”と表示されている間（約3秒）にリモコンの(ENTER) ボタンを押します。
　ディスプレイに現在設定されている時間を表示します。
　（お買い上げ状態時は、10秒に設定されています。）

```
Q.Rep.:10sec
```

④ [⏮] または [⏭] ボタンで時間を設定します。（5秒〜60秒）

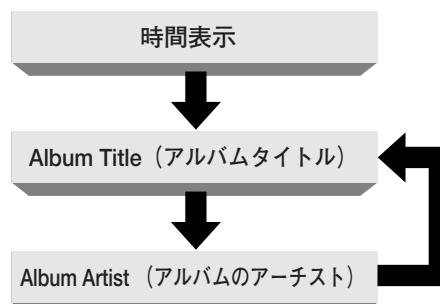
⑤ 設定後 (MENU) ボタンを2回押します。
　通常の表示に戻ります。

⑥ 最後に設定された時間は、電源を切っても保持されます。

注意

※ これらの一連の操作中に約3秒間キー入力が無かった場合、そのときの条件で設定され、時間表示に戻ります。

TEXT情報の表示について

スーパーオーディオCDディスクのTEXT情報はリモコンの (TEXT) ボタンを押すことにより、以降の項目を順に表示させることができます。
ただし、記録されている情報はディスクにより異なりますので、全ての情報が表示されるとは限りません。本機では記録されていない項目は自動的に省略し、飛ばして表示します。

● 再生中

リモコンの (TEXT) ボタンを押すと再生中の曲の“Track Title”を表示します。

● 停止状態

リモコンの (TEXT) ボタンを押すたびに以降の順に表示します。

- これらの情報を本機では一度に12文字を表示することが可能で、それ以上の文字情報がディスクに入っている場合は、表示窓に向かって右から左にスクロール*表示します。
  * 文字を送りながら表示させることをスクロールといいます。
- 本機ではアルファベット、記号、数字のみに対応しており、漢字、ひらがな、カタカナは表示されません。（文字情報が漢字、ひらがな、カタカナのみのときは何も表示されません。）

表示やスターマークを消す（ディスプレイ（DISPLAY）操作）

再生中、LCDディスプレイや各インジケーターを消灯することができます。
ディスプレイの状態（モード）は２種類あります。

1. LCD ディスプレイや全てのインジケーターがスターマークと連動して点灯／消灯するモード。

再生中 (DISPLAY) ボタンを押す度に、LCDディスプレイと全てのインジケーターが点灯（ディスプレイオン）／消灯（ディスプレイオフ）をくり返します。
ディスプレイオフ設定時はディスプレイオフ･インジケーター（赤色）が点灯します。

※ 動作状態を意図的に変更しようとした場合、（例えば [▲ OPEN/CLOSE] ボタンや [■ STOP] ボタン、[▶▶|] ボタン等の操作をしたとき）自動的にLCDディスプレイが点灯しますが、ディスプレイオフ・インジケーター（赤色）はこのときも点灯した状態のままになっています。また、この状態から再生を開始して約2秒後には自動的にLCDディスプレイが消灯します。

※ 停止中にディスプレイオフの設定をしたときは、スターマークとすべてのインジケーターが消灯し、ディスプレイオフインジケーターが点灯します。このとき、LCDディスプレイが点灯します。再生を開始すると約2秒後に自動的に消灯します。

2. スターマークは常に消灯し、スターマーク以外のインジケーターやLCDディスプレイが点灯／消灯するモード。

お買い上げの状態ではスターマークは点灯しています。このスターマークをディスプレイオン、オフ操作とは関連なく常に消灯状態にします。

変更方法（再生中にモード設定を変更することはできません。）

① 再生中の場合は [■ STOP] ボタンを押し停止させます。
設定操作はリモコンから (DISPLAY) ボタンを２秒以上押し続けます。

② スターマークが点灯している場合は消灯し、消灯設定になります。
消灯設定から点灯設定に変更したい場合は、再度 (DISPLAY) ボタンを2秒以上押し続け点灯設定にします。

※ スターマークの消灯設定は電源を切っても保持され、再び点灯設定に設定変更するまで消灯しています。

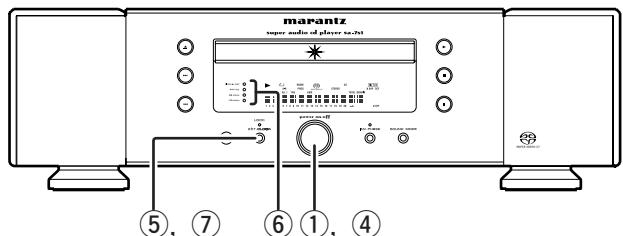
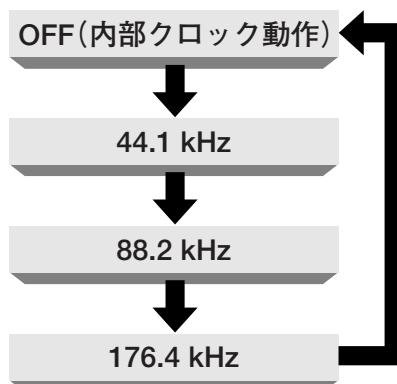
※ ディスプレイオフの設定は電源を切ると保持されません。（その度毎の操作でお楽しみください。）

※ LOCKインジケーターの点滅は、ディスプレイオフのときでも消灯しません。（→ 22 ページ）

マスタークロックジェネレーターを使用して再生する

マスタークロックジェネレーターとは ...

CDプレーヤーやスーパーオーディオCD等ののデジタル機器には、アナログ信号をサンプリングまたは復調する工程があります。
この工程を処理をするために、クロック信号（サンプリング周波数）が使われます。

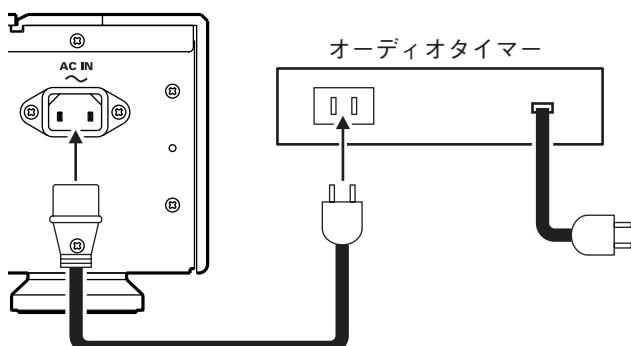
マスタークロックジェネレーターとはこのクロック信号を作るための発振装置です。
近年では、クロック信号の違いによって、音質が変わることが知られるようになり、高精度なクロック信号を出力するというマスタークロックジェネレーターが各社より発売されています。一般的にマスタークロックジェネレーターからのクロック信号の時間軸は正確で、揺らぎ成分（ JITTER（ジッター））が少ないので、更に高音質の再生を楽しむことができると言われています。
また、クロック信号の時間軸が高精度であるほど、自然界の音の時間軸に近くなり、高忠実度な音が再現できるとも言われています。
本機に内蔵しているクリスタル発振器のクロック信号は非常に高精度であり、本機だけで十分に高音質な再生をおこなうことができますが、外部のマスタークロックジェネレーターからのクロック信号によって再生をおこない、その音質の違いを楽しむことができます。
本機に入力できるクロック信号の周波数は 44.1 ／ 88.2 ／ 176.4kHz のいずれかです。これらの信号を出力できるマスタークロックジェネレーターをお使いください。

■マスタークロックジェネレーターを使って再生する

接続するマスタークロックジェネレーターはクロック信号が高精度である機器を推奨します。

① 本機の電源を切ります。
② 本機の後面の EXT. CLOCK INPUT 端子とマスタークロックジェネレーターの出力端子を市販の BNC 端子付同軸ケーブルで接続します。(→ 12 ページ)
③ マスタークロックジェネレーターの電源を入れ、設定するクロックの周波数を確認します。詳しい操作方法は、お使いになるマスタークロックジェネレーターの取扱説明書をご覧ください。
④ 本機の POWER スイッチを押し、電源を入れます。
⑤ 本機のLCD表示が点灯したら、本機の前面の EXT. CLOCK ボタンを押します。
⑥ EXT. CLOCK ボタンを押す毎に、下記の順でウィンドウ中のクロック周波数インジケーターが点灯します。

⑦ EXT. CLOCK ボタンを押して、マスタークロックジェネレーターで設定したクロック周波数に合わせると、LOCK インジケーターが点灯し、設定完了となります。
クロック信号を替えることにより音質の変化がおわかりいただけます。お好みの周波数に設定してください。

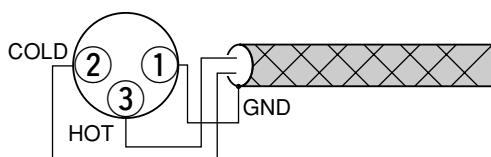
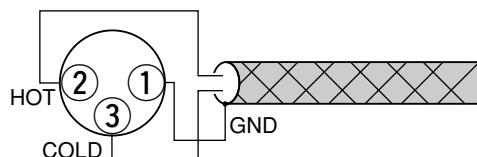
注意

- マスタークロックジェネレーターと内部クロックの切り替えはスピーカーからの過大音発生防止のため停止状態のときに行なってください。
- LOCKインジケーターが点滅している状態では音がミュートされます。お使いのマスタークロックジェネレーターの設定や、接続をもう一度ご確認ください。この時、DIGITAL OUTPUT の信号はミュートされません。
- 操作した後の情報は、ラストメモリー機能により電源を OFF にしても保持されます。

タイマープレイ

本機では市販の外部オーディオタイマーと連動したタイマープレイができます。
図のように本機の電源コードをオーディオタイマーの電源ソケットに差し込んでください。

※ オーディオタイマーへの接続、および操作についてはオーディオタイマーの取扱説明書を参照してください。

タイマープレイの設定

① POWER スイッチを押し、電源を入れます。
② 再生するディスクを挿入します。
※ タイマープレイで通常の再生をします。
③ オーディオタイマーを設定します。

BALANCED 端子について

① BALANCED 端子には XLR コネクターを使用しています。

② XLRコネクターの接続方法は、プロフェッショナル用としてタイプが二通りあります。

1. USA 方式（②PIN=COLD ③PIN=HOT）

2. ヨーロッパ方式（②PIN=HOT ③PIN=COLD）

③ 本機 SA-7S1 では、1. の USA 方式を採用しています。
XLR BALANCEDケーブルを使用する場合、ヨーロッパ方式を採用しているプリアンプやメインアンプで再生した場合、信号が逆位相になる場合があります。
その場合は、「アナログ出力端子の位相切り替え」を参照して正しい位相となる様に設定してください。

アナログ出力端子の位相切り替え

本機は読み出したオーディオ信号をデジタル処理することによって音質を変化させることなく、位相反転することができます。
UNBALANCED 出力端子からは反転した信号が出力され、BALANCED出力端子はHOTとCOLD信号が入れ替わります。
BALANCED 出力端子は、USA 方式を採用していますので、本機と組み合わせるアンプ等がヨーロッパ方式である場合、本来ならば位相反転ケーブルを使用しなければ正しい位相で再生されません。しかし、本機の INV. PHASE ボタンを押すことにより、ケーブルを交換することなく、正常な位相で聴く事ができます。

また、位相が誤って録音されたディスクを再生するときでも、INV. PHASE ボタンを押して、正しい位相で再生する事ができます。

変更方法

本機の前面の INV. PHASE ボタンを押す毎に、後面の ANALOG OUTPUTS 端子（BALANCED、UNBALANCED）からの信号の位相が反転します。反転再生中は、インジケーターが点灯します。

注意

- 再生中に切り替えた場合約 1 秒間音声の出力を停止し、不要なノイズを発生させないようにしています。
- 操作した後の情報は、ラストメモリー機能により電源を OFF にしても保持されます。

故障とお考えになる前に

故障かな？と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障と思われていることがあります。下記の項目をチェックして直らない場合は、お買い上げになった販売店、お近くの日本マランツ（株）各営業所、又は当社サービスセンターにご相談ください。または添付別紙の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」をご覧になり、ご相談ください。

★ ディスクが回らない

1. 電源コードは正しく接続されていますか。
2. POWERスイッチはONになっていますか。
3. ディスクが正しい位置に入っていますか。
4. ディスクが裏表さかさまに入っていませんか。（ディスクのレーベル面が上になっていますか。）
5. ディスクに汚れがありませんか。
6. ディスクに傷がついていませんか。
7. ディスクに反りがありませんか。
8. EXT. CLOCK（BNC端子）は接続されていますか。また、正しく設定されていますか。

★ ディスクは回るが音が出ない

1. アンプ・スピーカーの接続は正しいですか。
2. アンプの電源スイッチはONになっていますか。
3. アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機をあなたが接続したところ）に切り替えられていますか。
4. アンプのボリュームが最小になっていませんか。

※ エアコンや冷蔵庫の近くに設置された場合、まれに音が出なくなる場合があります。このときは、本機の電源を一度切るか、OPEN/CLOSEボタンを押してトレイを一度開閉させて、再度再生させてください。

★ ディスクが途中で回らなくなり止まる、または音が途切れたり雑音が出る

1. ディスクが汚れていませんか。
2. ディスクに傷がついていませんか。
3. ディスクに反りがありませんか。

※ CD-R/CD-RWディスクのとき、書き込まれた状態が悪かったり、ディスク自体の品質が悪い場合このような症状が出る可能性があります。

※ ミックスモードCDやCDエクストラ等でCDDAフォーマットとそれ以外のデータが混在しているディスクの場合、この様な症状が出る可能性があります。また、トラックスキップ時、一瞬雑音がでることがあります。

★ リモコン操作ができない

1. リモコンの送信窓が、プレーヤー（本機）の受光窓に正しく向けられていますか。また、この間に何か障害物はありませんか。
2. リモコンの電池が消耗していませんか。
3. プレーヤーの受光窓に他の強い光が当たっていませんか。

★ スーパーオーディオ CD が再生できない

1. ディスクに傷か汚れ、反りがありませんか。
2. アンプのインプットセレクターがデジタルになっていませんか。（スーパーオーディオCDのときは、DIGITAL AUDIO OUTは出力されません。）
3. スーパーオーディオCDマルチチャンネル専用ディスクではありませんか。（本機はスーパーオーディオ CD マルチチャンネルには対応していません。）

★ CD-R/CD-RW ディスクが再生できない

1. ディスクが裏表さかさまに入っていませんか。
2. 正しくファイナライズされ（TOCが書き込まれ）ていますか。
3. 記録されている情報が音楽用（CD-DA）フォーマットですか。

★ 特定の CD が再生できない

コピーコントロール CD（コピーガード付 CD）は、現在のオーディオCD規格に準拠していない特殊なディスクであり、当社としましては、お客様のオーディオ CD 再生機器による再生の状態を保証致しかねます。
通常オーディオCDを用いての再生時には支障なく再生ができ、これらの特殊ディスク再生時においてのみ支障をきたす場合につきましては本機の不具合ではございません。
なお、コピーコントロールCDに関する詳細につきましてはコピーコントロールCDの発売元にお問い合わせ戴きますようお願い致します。

★ トレーを閉めたときに、カチャと音がする

ディスクを固定する為のクランパーの吸着音です。
ご使用上、問題ありません。

★ ディスクが回転中、回転音が聞こえたり、少し振動する

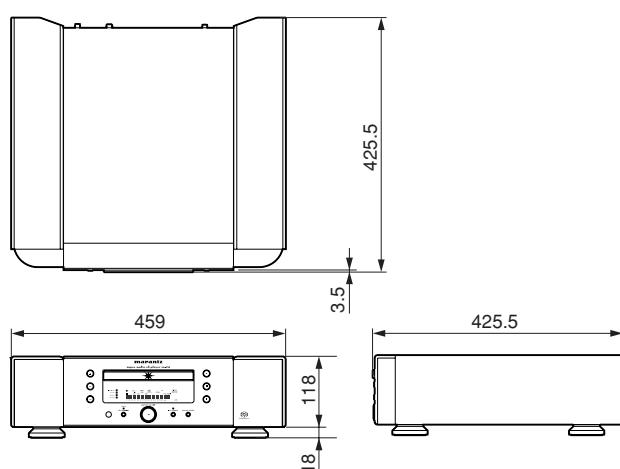
ディスクによってはディスクの偏心等の原因により、ディスクが回転中、回転音が聞こえたり、本機が少し振動する場合がありますが、本機の故障ではありません。

仕様

	スーパーオーディオCD	オーディオCD
オーディオ特性 アナログ出力 チャンネル 再生周波数範囲 周波数特性 ダイナミックレンジ 高調波歪率（1kHz） ワウフラッター	 2チャンネル 2Hz — 100kHz 2Hz — 50kHz（-3dB） 114dB（FILTER 3） 0.0009%（FILTER 3） 水晶精度	 2チャンネル 2Hz — 20kHz 2Hz — 20kHz 100dB以上（FILTER 1） 0.0020%（FILTER 1） 水晶精度
アナログ出力レベル アンバランス バランス **デジタル出力** ピンジャック 角型光コネクター（光出力）	 2.5V RMSステレオ（FILTER 3） 5.1V RMSステレオ（FILTER 3） —— ——	 2.3V RMSステレオ（FILTER 1） 4.6V RMSステレオ（FILTER 1） 0.5Vp-p（75Ω） -19dBm
クロック入力 クロック周波数 BNC端子	 44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz 1V — 5Vp-p（75Ω）	
光学読み取り方式 レーザー 波長	 AlGaAs 650nm	 AlGaAs 780nm
信号方式 サンプリング周波数	1ビットDSD 2.8224MHz	16ビット・リニアPCM 44.1kHz

電源部

電源 .... AC 100V 50/60Hz
消費電力（電気用品安全法） 26W

キャビネット・その他

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き） .... 459×136×425.5mm
質量 22.3kg
許容動作温度 .... ＋5℃ 〜 ＋35℃
許容動作湿度 .... 5〜90%（結露のないこと）

付属品

- リモコン 1
  外形寸法（幅×高さ×奥行き） .... 48.5×21.5×152.5mm
  質量（電池なし） 160g
- 単四乾電池（R03） 2個
- 電源コード 1本
- オーディオケーブル 1組
- 取扱説明書（本書） 1冊
- 保証書 1枚

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

■外形図

その他

■お手入れ

- セットが汚れたときは柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を５〜６倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

■ステレオ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■著作権について

- 放送や、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カセット、オーディオ CD など）、音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。
- したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。
- 使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

■保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より１年間です。
   お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低８年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度”故障とお考えになる前に”をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1）	品名	スーパーオーディオCDプレーヤー
2）	品番	SA-7S1
3）	お買い上げ日	年　月　日
4）	故障の状況	（できるだけ具体的に）
5）	ご住所	
6）	お名前	
7）	電話番号	

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30－12：00　13：00－17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社**マランツ**コンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.jp

Printed in Japan

08/2006　00M27AK851110　mzh-g